

令和5年度学校評価アンケート集計結果

回答数: 児童 726人・保護者 405人・教職員 32人

- そう思う
- ややそう思う
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

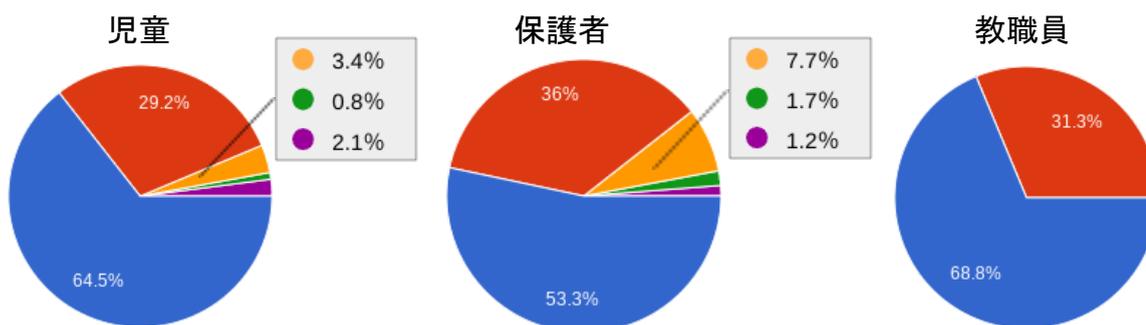
【資質・能力の育成】

質問1

児童: 学習はよくわかりますか。

保護者: お子様は、基礎的・基本的な学力がついていると思いますか。

教職員: 基礎的・基本的な学力が定着するよう、個に応じた指導や指導法の改善に努めていますか。



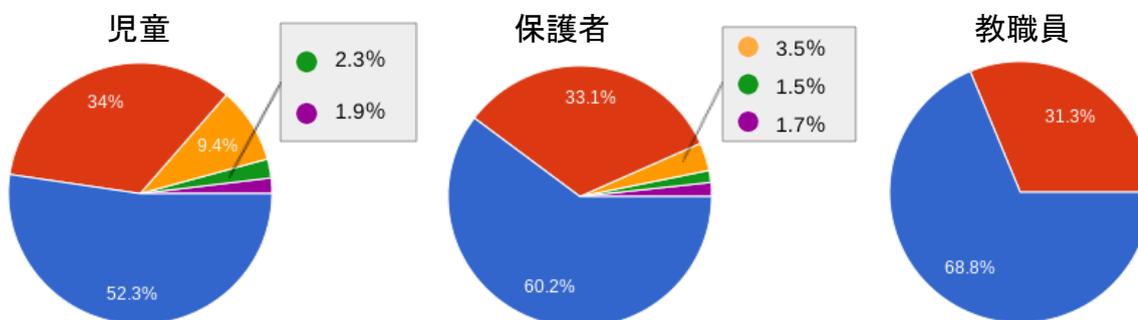
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は93.7P、教職員は100Pになり、昨年度より僅かではあるがP数が上がっている。保護者は89.3Pで僅かに下がっている。基礎的・基本的な学力の定着は大切なことであるので、今後も、分からないと感じている児童に合わせたきめ細かな支援を含め、個に応じた指導・支援の工夫・改善にさらに努めていきたい。

質問2

児童: 勉強の時に、進んで友だちの話を聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか。

保護者: お子様は、友だちとかかわり合いながら学習をしていると思いますか。

教職員: 「自分の思いをもち、かかわりを通して学び合う子をめざして」主体的・対話的な授業づくりを心がけていますか。



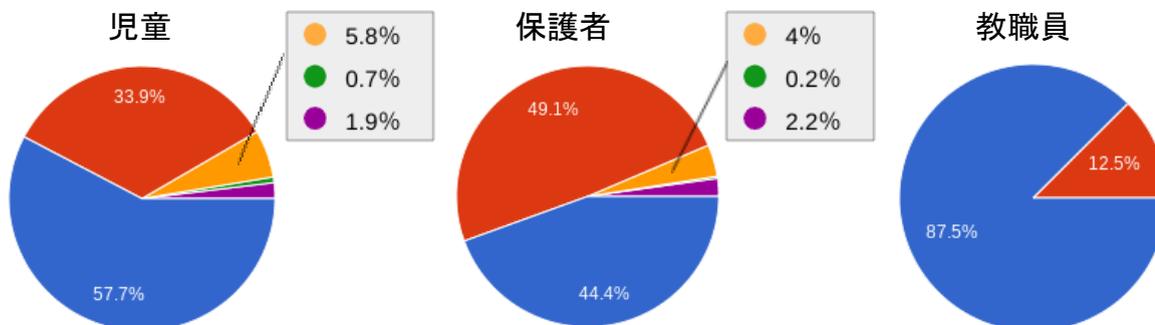
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は86.3P、保護者は93.3P、教職員は100Pになった。三者とも、昨年度よりP数が上がっている。かかわりを通して学び合うことは大切なことであるので、今後も、友だちとかかわり合いながらする学習のよさや楽しさを実感できる場面を増やすなどの工夫を続け、主体的・対話的な授業作りを進めていきたい。

質問3

児童:「やさしい話し手・あたたかな聴き手」を心がけていますか。

保護者:お子様は、自分や相手を尊重してかかわり合うことができていると思いますか。

教職員:校内研究と連動して「やさしい話し手・あたたかな聴き手」を意識し、自分と相手を認め合う人権教育を心がけていますか。



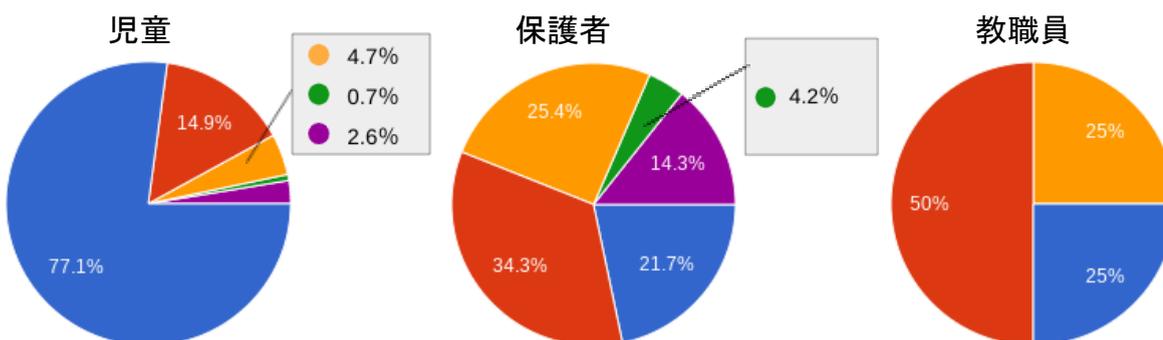
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は90.7P、保護者は93.5P、教職員は100Pになった。児童と保護者のP数が昨年度より上がっており、教職員は昨年度同様の100Pである。今後も、児童が意見や考えをこれまで以上に積極的に楽しく発信・受信していくことができるような環境の整備と支援を続けていきたい。

質問4

児童:GIGA端末は、自分の考えを伝えることや、友だちの考えを知ることなど、学習に役立つと思いますか。

保護者:GIGA端末は、自分の考えを伝えることや、友だちの考えを知ることなど、学習に役立つと思いますか。

教職員:子どもがよりよく学ぶために、GIGA端末を活用していますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は92P、教職員は75Pと昨年度よりP数が上がっているが、保護者は56Pと僅かに下がっている。児童も教職員もGIGA端末の活用に十分慣れて、使いこなすことができているのではないと思われる。保護者にも、機会を捉えて児童がGIGA端末を活用している場面をもっとお知らせしたりお見せできるようにしていきたい。

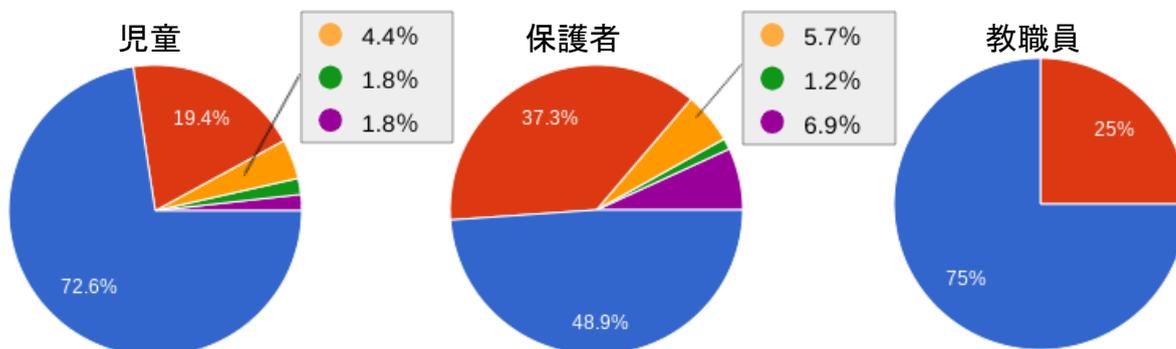
【認め合う心の育成】

質問5

児童：(友だち・先生・家の人など)困ったときに相談できる人がいますか。

保護者：個人面談や教育相談などでの情報交換が、日々の指導に生かされていると思いますか。

教職員：子どもの困り感を見つけ出し、学校に居場所ができるような環境づくりに努めていますか。



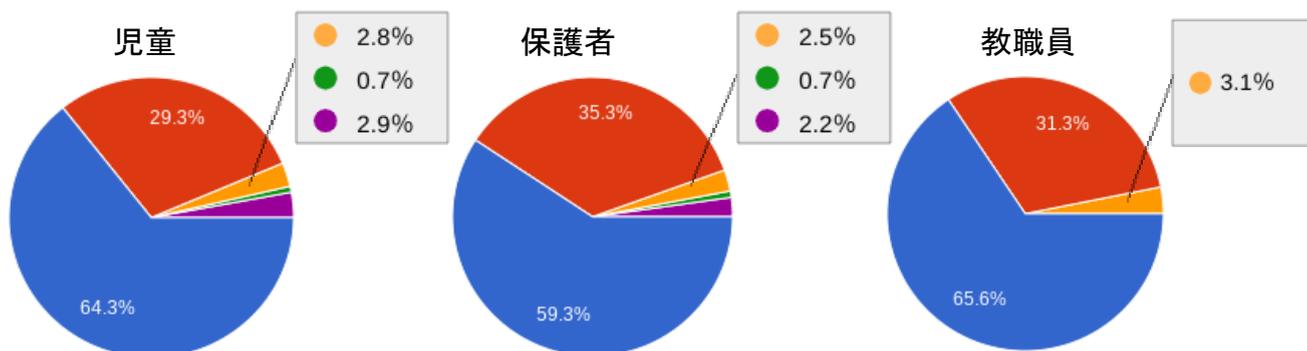
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は92P、保護者は86.2P、教職員は100Pと、昨年度よりもP数が上がっている。困ったときに相談できる環境が学校と保護者の連携によって整いつつあると思われる。今後も、児童が相談しやすい環境をさらに整備するとともに、教職員が児童の様子をもっときめ細かく見て、積極的に支援していきたい。

質問6

児童：「中原のやくそく」を守って過ごしていますか。

保護者：お子様は、「中原のやくそく」を守って学校生活を送っていると思いますか。

教職員：「中原のやくそく」を理解し、指導していますか。



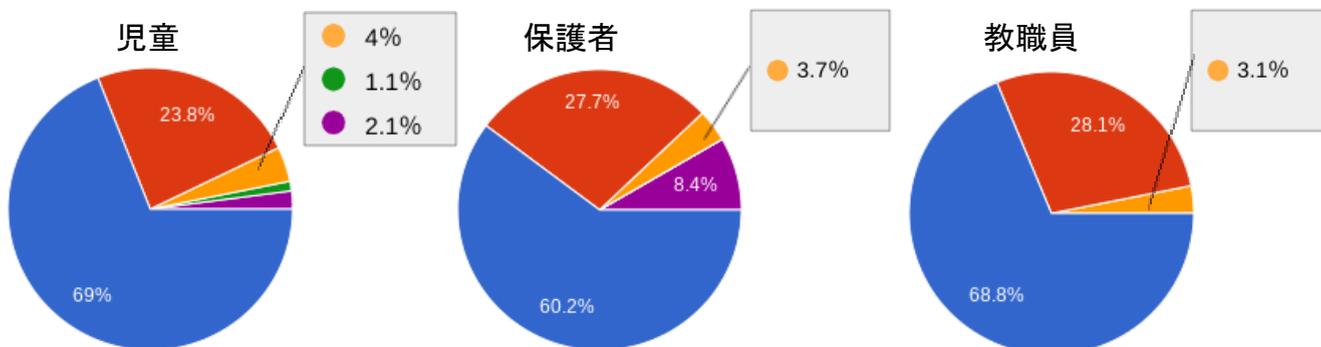
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は93.6P、保護者は94.6Pで、昨年度よりP数が上がっている。その反面、教職員は昨年度の100Pから若干下がっている。「中原のやくそく」が児童により確かに浸透していることが伺えるため、これからも教職員も工夫しながら指導・支援にあたる努力を続け、児童がさらに豊かな学校生活を送ることができるようにしていきたい。

質問7

児童:係や委員会・実行委員会など、自分の仕事に進んで取り組んでいますか。

保護者:お子様は、係や委員会・実行委員会、集会などの活動に進んで取り組んでいると思いますか。

教職員:係や委員会、集会などの特別活動を通して、子ども同士がかかわり合い、主体的に活動できる場の設定を心がけていますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は97.3P、保護者は87.9P、教職員は69.6Pと昨年度よりP数が上がっている。児童が自分の仕事などに責任を持って取り組もうとする意識が少しずつ育ってきているものと思われる。今後も、児童が主体的に活動できる場の設定などに工夫をこらすなどして、児童の主体性をさらに伸ばしていきたい。

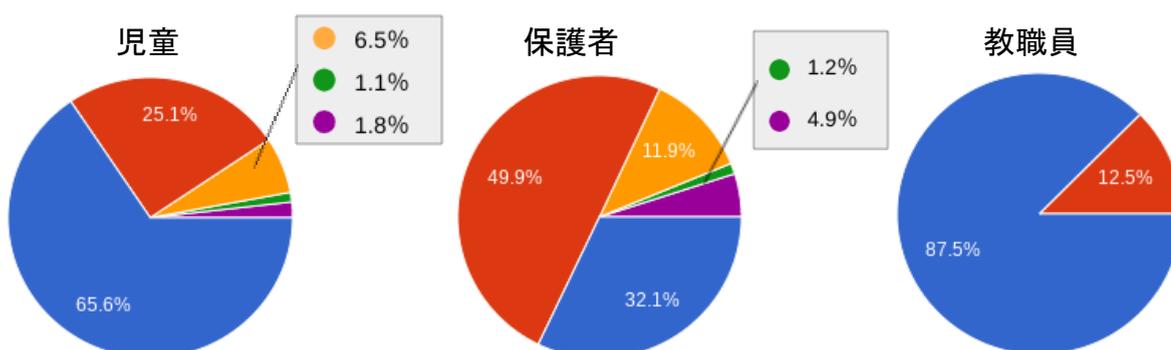
【心身の健やかな育成】

質問8

児童:友だちや学校にかかわる人や地域の人に、進んであいさつをしていますか。

保護者:お子様は、友だちや地域の方に進んであいさつをしたり、中原のまちを大切に感じたりしていると思いますか。

教職員:子どもに対して、あいさつの意義の指導や励行に努めていますか。



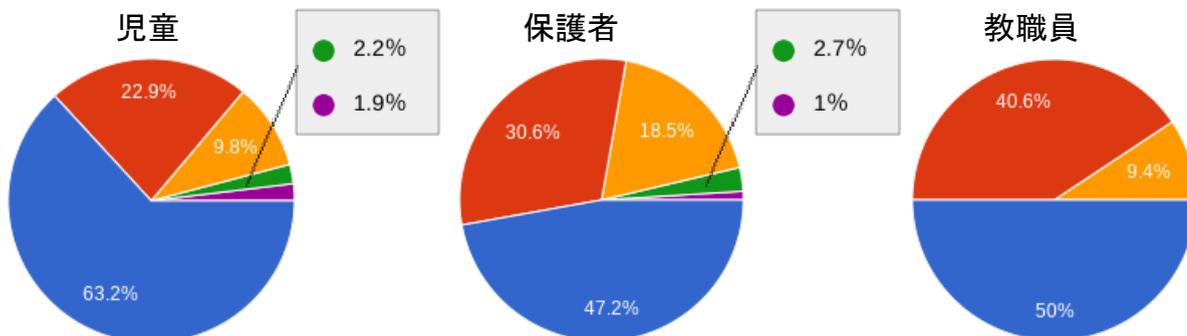
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は90.7P、保護者は82Pと昨年度よりP数が上がっている。教職員は100Pと変わらないが、「そう思う」が大幅に上がっている。児童があいさつの意義や気持ちよさを理解し、実践しているものと思われる。これからも、あいさつの実践を続け、楽しい学校生活に結びつくひとつの要素としてより定着するようにしていきたいと考える。

質問9

児童: 進んで運動に取り組んでいますか。

保護者: お子様は、進んで運動に親しんでいると思いますか。

教職員: 子どもの体力向上のため、体育の学習や運動の機会を工夫していますか。



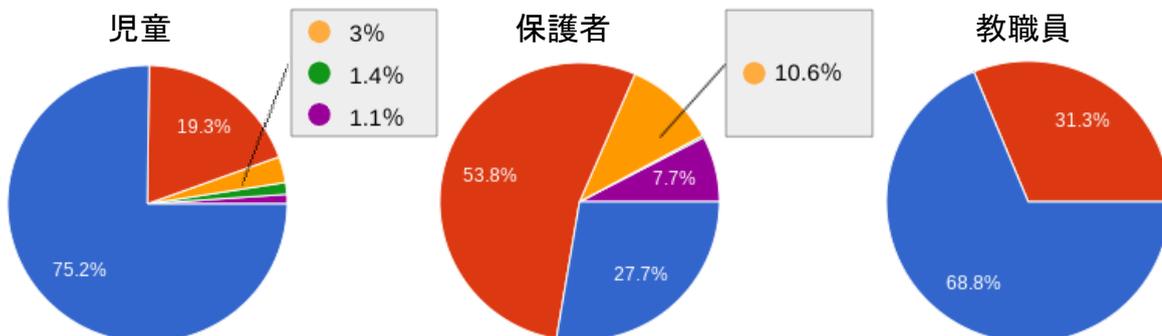
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は86.1Pと昨年度よりP数が下がっている。保護者は77.8Pで同じ、教職員は90.6Pで上がっている。日頃から進んで運動に取り組むことはあまりしていないと感じている児童が一定数いるとみなされるので、今後は、児童が運動することへの意欲を高めることができるよう、教職員はさらに体育の学習や運動の機会を工夫して児童に関わっていきたい。

質問10

児童: 安心して学校に通うことができますか。

保護者: 防災防犯体制等、お子様の安全が図られていると感じますか。

教職員: 防災安全のための学校内の取り組みを理解し、安全な環境づくりに努めていますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は94.5Pと昨年度よりP数が上がっており、保護者は81.5Pで下がっている。教職員は変わらず100Pである。これからは、保護者へのさらなる情報発信にも留意しながら、防災防犯体制等の環境点検を継続して行い、児童が安心して学校に通う事ができる環境整備をさらに進めて行きたい。

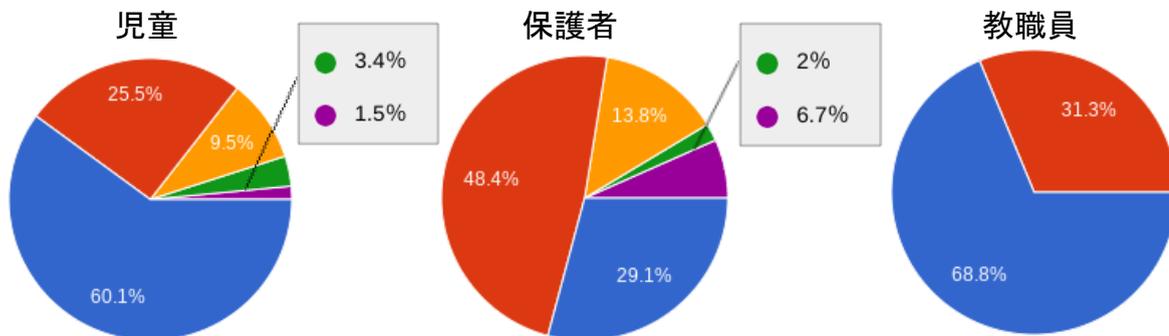
【学校愛・地域愛の育成】

質問11

児童：学校でのことを、家の人に話し、伝えていきますか。

保護者：学校からの情報は、広く発信されていると思いますか。

教職員：子どもに関することや、学級・学年等に関する情報を保護者へ伝えていきますか。



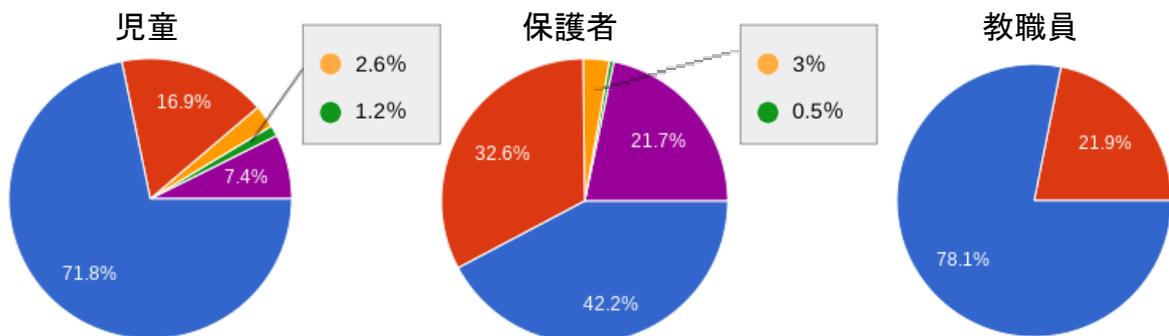
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は85.6P、教職員は100Pで、昨年度のP数より上がっている。保護者は77.5Pで若干下がっている。保護者に学校からの情報を伝えるのに、児童からの発信と合わせて様々な機会を捉えての情報伝達をさらに充実させていく必要がある。わかりやすい情報伝達についてもさらに推進していきたい。

質問12

児童：学校の先生以外の先生(ゲストティーチャー)としての学習は、楽しかったですか。

保護者：地域協力者・外部講師により実施された学習は、有意義だったと思いますか。

教職員：地域協力者・外部講師により実施された学習は有意義だったと思いますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童88.7P、教職員100Pとなり、昨年度よりP数が上がっている。保護者は74.8Pとなり、若干下がっている。ゲストティーチャーとする学習は児童にとって有意義で楽しい学習と捉えられており、今後も続けていきたい。また、これらの学習に関する保護者への発信についても、工夫しながら続けていきたい。

